

# さわやか通信

令和6年4月1日発行

No.29

## 株式会社ウエルフェアネット

会社設立 平成12年12月  
代表者 代表取締役 平山正明  
事業内容 福祉事業全般 建築地区を中心に  
グループホーム 小規模多機能型居宅  
介護施設の運営を主たる事業としている  
住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら  
せる老後をお手伝いします  
基本理念 利用者おひとりおひとり、その人らしい  
基本方針 生活に日々「寄りそう」

# あるがままに 楽しく 中々だろ

さわやか憩いの家二日市

利用者Nさん



絵 吉永 直子



## 【令和6年度あいさつ】



昨年からお伝えしていた通り、「さわやかテラス筑紫野」が開設を迎えました。思い入れのある馴染みの場所です。歩きたせるのは感慨深いものがあります。

23年前に改修型のグループホームを出発し、スケジュールを作らない、鍵をかけない、さん付け呼称を徹底することから始まりました。最初に出会った入居者の方からいただいた学びが土台となっています。

これまで大切にしてきた思いを新たにスタッフに伝えました。「利他の心」ということです。他人を思いやるということが根底にあり、常に他人がどう考えているのかを中心に考えること。人間は最終的には人から見ると自己中心になる。と京セラの社長稲盛和夫さんも言われています。認知症ケアの世界でも同じことだと思います。「鍵をかけないケア」とはその人がどうしたいのか、その人の立場になって人生の終焉まで考え続けることが大切です。

「寄りそう」とはどういうことを考え続けられ、人にやさしくなれます。

自分の心、利他の心をもっと磨きスタッフひとりひとりが成長することを願います。

また、今年度は新たな取り組みとして、外国人雇用をすすめていくこととしました。その背景には人材不足があげられます。福祉の仕事だけではなく様々な業種でも言われていることだと思います。数年前から外国人雇用については情報を得て話しを聞いたり、実際に雇用している施設を見聞きしてきました。今回は運営統括取締役の山城が実際に現地に outgoing 面接をし、文化を学び福祉学校の様子も見てきました。この出会いがまたプラスになり、入居者・利用者、ご家族、地域の皆様に受け入れていただけたものと思います。

令和6年度も「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓を体現しながら、8つの事業所において、どこも事業所に行っても訪れた方が方針に沿っていると感じていただけるように邁進いたします。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

さわやかテラス・さわやか憩いの家

代表取締役 平山 正明



## 【さわやかテラス筑紫野開設に思う】



大野城・春日・大野城中央と施設建築に関わってきましたが、今回「さわやかテラス筑紫野」に関わった1年は、建築現場に関わる方のプロフェッショナルを感じ学ばず多い年となりました。普段当たり前に過ごしている空間や環境と家訓に沿ったケアを志しながら、入居者・利用者の方と日々生活しています。直接的にケアに関わってこそ、よりよいケアができると感じていましたが、今回建築現場に関わり意識を改めました。

おおよそひとつの建物に関わった方は200名以上。(いやもともと多いですね。その会社の代表の方や書類を確認する方を含めると数知れず)専門の業者さんが別々の場所から集いこの建築に関わる時に、施工主からの意見や認知症をもつ方が生活しやすさを第一に考えて欲しいことを伝えると、その意見に沿って提案や代替案を出し合えるプロの仕事を見ることができました。

これだけの方が関り尚且つ地域の方が毎日、建築現場を見に来られ業者さん

に声をかけられていました。この土地がどうなっているのか天候が悪い日の道路状況や土の状態など含めアドバイスもあり業者さんに労いの言葉もかけてくださっていました。地域の方の関心が高いのもこれまで23年間「さわやかテラス」が建っていた場所だからということもあると思いますが、必要と感じていただけのこと、期待も大きいからだと感じています。

こうした1年を過ぎ今後、認知症ケアについてもアイデアと工夫を惜しまずみんなで考える力を養い「家訓」に沿うことができるように力を合わせていきたいと思っています。

この広報誌がみなさんの手元に着くころには「さわやかテラス筑紫野」が開設し新しい出会いが始まっています。直接的に関わることだけでなく、事業を運営するにも間接的に関わってくださいありがとうございます。感謝を忘れず過ごしていきます。

激励応援よろしくお願いたします。

(さわやかテラス二日市・さわやか憩いの家二日市・

さわやかテラス筑紫野 田中 順子)



↑リビング  
← 居室

## 【第30回日本ホスピス・在宅

### ケア研究会 全国大会

10月28日、29日の2日間、宮城県仙台市で『日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会』が開催され、私はさわやか憩いの家大野城中央で9年間関わった利用者さんの発表をしました。

利用当初から「お父さんと暮らしの家がよかよ」という思いが強く、いつまでも自宅での生活を続けていただけるようサポートしてきました。

利用開始から8年後、脳梗塞による麻痺や嚥下障害が残り、医師からも「自宅での一人暮らしは難しい」と言われていましたが、多職種と連携のもと、自宅での暮らしに関わることが出来ました。会場では「しっかりとご本人の思いに寄りそった取り組みが出来ていて素晴らしい」という意見を頂きました。

今回は、東日本大震災の被災地ということもあり、被災を経験された医師や保健師・住職等、震災当事者からの発生直後の取り組み、現在も続く心の支援などの話を聴くことが出来ました。

(さわやか憩いの家大野城中央 山崎 健)



## 【認知症あったかホーム

### コンサート2023

今年で13回目を迎える福岡県介護の日のイベント『認知症あったかホームコンサート2023』が11月23日にパピヨン21で開催されました。コロナ禍の数年はオンラインでの開催でしたが、今回は会場とオンラインでの開催で、学生さんや当事者の方、行政や包括、県民の皆さん等、多数の参加がありました。

『福岡発、ケアの『真ん中』』のものがたり〜未来のケアとまちをつくる〜のテーマで『よりあい』の村瀬さんと党さんの対談では、ご本人の思いや生き方に寄りそい続けることで、自分たちが地域と繋がり、育ててもらったとの話が印象深かったです。

3部のトークライブでは、学生さんや新人スタッフ、中国の留学生、当事者の福田さんを交えて『未来を生きる君たちへ』のテーマでそれぞれ大切にしているケアの『真ん中』についてインタビューしました。皆さんの笑顔と真摯な姿勢に、元氣と勇気ももらいました。

(さわやかテラス大野城・さわやかテラス大野城中央)

さわやか憩いの家大野城中央 平原 由香)



## 【台湾研修

### 各事業所の10年勤

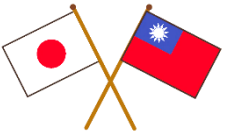
続者10名と東京センターの方、西日本新聞の記者の方も一緒に1月21日から4日間、台湾研修の旅に行きました。

台湾は介護保険制度はまだなく、国からの支援サービスが提供されていません。

また、台中にあるデイサービスと小規模多機能施設の見学では、開放的な空間で体操して過ごされていたり、午後からはリクライニングソファがずらりと並んでいるお部屋で、1時間程度の昼寝をされ、すっきりした表情になっておられました。90代の方は日本語が堪能で「おお！日本から！」「また来てくださいね」と声をかけてくださいました。見学の後、意見交換会と実践発表などあり、よい時間になりました。優しいお味のお料理も堪能でき、また行ってみたいと思います。とても有意義な時間を過ごすことができました。

(さわやかテラス二日市 佐伯 由美子)

さわやか憩いの家大野城中央 佐伯 由美子)



九份 (きゅうふん)

## 【特集☆西日本新聞社 西山記者より

### 『ハンサムと独身で盛り上がる』

「ハンサム」「ドクシン」：「ワオ」台湾の高齢者施設をウエルフェアネットの皆さんと一緒に視察した1月下旬から、かなりの日が過ぎました。それでも現地でも聞いたこの3語の響きは、今なお鮮明に覚えています。

3語に触れたのは、視察先の一つだった台中市の「本堂基金会」運営施設。ウエルフェアネット側メンバーが1人ずつ、基金会側に紹介される場面でのことでした。紹介の順番になったウエルフェアネット側メンバーが男性で二枚目だったり独身だったりすると、進行役である台湾人日本語も堪能なリン基金会執行長がメンバーの名前を披露後、すかさず、そうしたことも大声で加えていたのです。

会場に集まった基金会スタッフは約20人で多くが女性。日本語の「ハンサム」「独身」は台湾でも浸透しているようで、この2語がリンさんの口から出るたびに、女性陣は歓喜の「ワオ」を発して大盛り上がり。会場を明るさとおおらかさで包んだのでした。リンさんも妙齢の女性で、ハンサムか否かの判断は自身の主観のようでした。独身についてはリンさんから情報提供をその場で求められた運営統括取締役山城裕美さんが瞬時に伝達。見事な日台連携プレーも展開されていたのです。

この視察で印象に残ったことはあと二つあります。一つはウエルフェアネット側、

基金会双方による議論が活発だったこと。認知症の人の介護法や人権について意見交換する時間があり「台湾では認知症の人への対応は薬で抑制するのが主流。日本は？」「まずはケアで対応し、その後、薬使用を検討する」などのやり取りが聞かれました。基金会側は3語のときとは一転して真剣。「入居施設で認知症の人たちが男女の仲になったとき、認めますか」とウエルフェアネット側に問いかける一幕もありました。

もう一つは、施設利用者である現地のお年寄りたちが友好的だったこと。見知らぬ私たちの訪問に警戒心を示すことなく、歓迎してくれました。リンさんによると台湾には大学生に在学中、奉仕活動を10時間課す制度があり、大学生はごみ拾いをしたり、障害者施設で活動したりするそうで、基金会運営施設も大学生を受け入れているとのことでした。お年寄りが「見知らぬ人」を警戒しないのは、大学生が来るから、リンさんが解説してくれました。

ただ私は、基金会スタッフが仕事に真剣で、かつ明るさとおおらかさを持つからこそ、お年寄りたちも安心して過ごせているのだろうと思っただけでした。

(西日本新聞記者 西山 忠宏)



左 西山記者  
右 スタッフの佐伯



—あの日・あの時—

私が最初にさわやかテラスを知ったのは、前職の学童で認知症講座をしていた時です。それから子供たちと一緒に何度かさわやかテラスに遊びに行かせてもらい、「いい所だな。母がもし施設に入るならここがいいな」と思ったことを思い出します。

それから何年も経ち、ひよんなことから介護実務者研修を受けることになりました。仕事をするならグループホームがいいと思いつつ、他の施設にもくれず、面接を受けて、さわやかテラス大野城中央に就職することになりました。やっぱり縁があったのだなとつくづく思いました。両親は、私が介護をする前に残念ながら旅立ってしまった。なので、介護という宿題をするために道ができたのではないかと思うので、頑張りたいです。

入社して今年で2年目、1番の思い出は、お花見です。さわやかテラス大野城中央の裏には、まるで私達のために植えてくれたかのように筑紫中央高校の大きな桜の木が見えます。1年目は初めて車椅子の方と一緒に玄関から降りて外に行きました。ハラハラおそおそと無事に行って帰って来るのがやっとで、入居者さんと花見を楽しむ余裕がありません

んでした。きつと、一緒に行ってきたことでしょうか。今でも申し訳なく思います。2年目は少し慣れ、いつもは厳しいお言葉を言われる入居者さんに「わく綺麗。ありがとう。良かった見れて」と言われた言葉に嬉しくなりました。2階の居室からも入居者さんと一緒に見ました。どの方も懐かしそうな表情をされ、楽しかったことを思い出しておられるようでした。私は来年も一緒に見られますようにとお願いしました。一つ一つがその方々と思いい出になります。これから



(さわやかテラス大野城中央 鶴山 律子)

【こんにちは『こうちゃん』】

去年の8月に第2子の男の子『こうき』が生まれ、それに合わせて育児休暇を頂いた。出産に立ち会うことができ、頑張ってくれた妻には感謝をもしきれない。これから



(さわやか憩いの家二日市 紺田 光二)

編集後記

サツマイモのモンブラン作りを計画。入居者さんに声をかけテブルの周りに集まっていた。手元には、サツマイモのモンブランのレシピ。レシピがあるから大丈夫。と安心していただけ、スタッフを心配そうに見ている皆さんの顔が並んでいた。頭の中が真っ白になり、あたふたと困っているスタッフの姿をみて、入居者さんが「しよつか？かしてん」とクリーム分量を一緒に考えたり、他の方も「民宿しよつかけんね、早よしんしゃい」と手際よく栗をむいたり、とても心強く助けてもらった。思い返すとこの8年、人生の先輩方から色んなことを学ばせてもらっている。ハプニングやピンチを温かく包み込んでくれるのも、入居者さんのこれまでの経験や厳しい時代を幾つも歩んで来られたからだと思う。

時間が足りず、ギリギリまで悩んだサツマイモのグラッセも作れて良かった。皆さんが嬉しそうに盛り付けされていた。今はなんでも簡単に、時短が可能な世の中、それでも顔と顔を合わせて教えてもらえるありがたさは、時短にもまさるものだと感じている。

(広報担当 田中順子・紺田光二 阿部有恵・種子島こなつ・東桃子)

ウェルフェアネット令和6年度の活動

- 社外研修・セミナー参加
  - 日本認知症ケア学会
  - 日本ホスピス・在宅ケア研究会
  - 台湾研修
  - 日本セラピューティック・ケア協会
  - 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会
  - 九州地区での各種研修
  - 他事業所との合同研修

- 各団体との関わり
  - 福岡県高齢者グループホーム協議会
  - 筑紫野地区やさしい福祉結の会
  - 日本介護福祉士会
  - 福岡県介護福祉士会
  - 筑紫地区小規模多機能連絡協議会
  - 大牟田市介護サービス事業者協議会

- 地域との関わり
  - 各地域の自治会・育成会・老人会など
  - 地域の保育園・小学校
  - 民生委員・福祉委員
  - 各地区の地域包括支援センター
  - 筑紫野市介護を考える家族の会
  - 春日市介護を考える家族の会「ひだまりの会」

検索してね!

検索 さわやかテラス



相談会や講座開催に積極的に協力  
認知症サポーター養成講座  
社外実習生の受け入れ  
公民館活動との連携  
災害広域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム  
**さわやかテラス二日市**  
〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号  
TEL092-918-0045 FAX092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設  
**さわやか憩いの家 二日市**

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号  
TEL092-918-3830 FAX092-918-0255

グループホーム  
**さわやかテラス筑紫野**  
〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1  
TEL092-917-7011 FAX092-917-7022

大野城市

グループホーム  
**さわやかテラス大野城**  
〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5番29号  
TEL092-513-7511 FAX092-513-7512

グループホーム  
**さわやかテラス大野城中央**

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL092-501-0352 FAX092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設  
**さわやか憩いの家 大野城中央**  
〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL092-501-0322 FAX092-501-0323

春日市

グループホーム  
**さわやかテラス春日**  
〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL092-588-3307 FAX092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設  
**さわやか憩いの家 春日**

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL092-588-3531 FAX092-588-3308

**株式会社ウェルフェアネット本社**  
〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番450  
TEL092-582-0757 FAX092-582-0847